



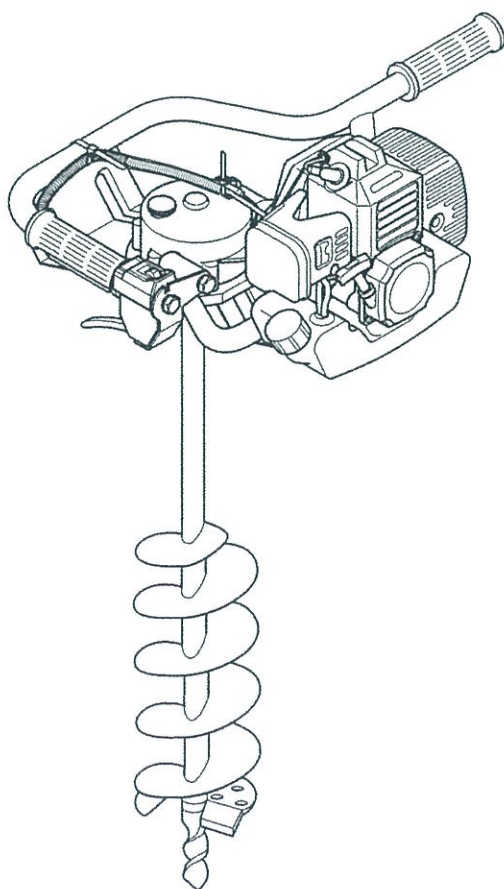
取扱説明書

オーガー

AG400

AG500

EA898KE-1



ご使用前に、必ずお読みください

目 次

	ページ
A. 危険防止の為の注意事項	3
B. 各部の名称と仕様	6
C. 組 立	7
1. エンジンの取付	7
2. スロットルワイヤの接続	7
3. リード線の接続	7
4. ドリルの取付	7
D. 運転前の準備と注意	8
E. エンジンの始動及び停止	8
F. 保守・点検及び保管	12

『オーガー』を お買いあげいただき、ありがとうございます

はじめに

- ・この取扱説明書は「オーガー」の取扱い方法と使用上の注意事項について記載してあります。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みいただいて、機械の使い方を理解してから正しい取扱いをしてくださるようお願い致します。
- ・穴掘り作業のために設計・製造されています。他の目的には絶対に使用しないでください。
- ・すべての取扱説明書を必ず読んでください。
- ・エンジンの取扱いについては、別冊の取扱説明書を必ずお読みください。
- ・他人に機械を貸すときは『取扱説明書』をよく読んでもらい取扱方法や本書に書かれている安全作業の内容をよく理解してから作業するように指導してください。また、必ず機械と一緒に『取扱説明書』も貸してあげてください。
- ・取扱説明書は、お読みになったあとも大切に保管してください。
- ・機械は絶対に改造しないでください。
- ・品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告なく行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。
- ・作業で起こりやすい事故を未然に防止する安全作業をするための注意事項を記しました。詳細は本文の中で▲印の安全注意マークを付しておりますので、よくお読みいただいて事故のないようにしてください。
- ・**▲注意：** この取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こり得る全ての状況や状態を表すものではありません。機械の安全性には十分気を配っておりますが、作業する方や保守をする方も安全には十分な注意・配慮をお願い致します。

A. 危険防止の為の注意事項

安全作業をするために

服 装

1. 長袖、長ズボンで裾まりのよいものを着用してください。
2. 巻タオル・ネクタイの着用はやめてください。万一、回転中のドリル等に触れると巻込まれる恐れがあります。
3. 目の保護のため、防塵メガネを使用してください。
4. 平地での作業ではつばのある帽子、山などの傾斜地ではヘルメットを着用してください。
5. 安全靴等のすべり止めのついた物を履いてください。
6. 騒音から耳を守るため、適正な保護具（耳栓等）を使用してください。

環 境

1. 暑熱寒冷の時は長時間の作業は避けて十分な休憩をとってください。
2. 雨天時の作業は足元が滑りやすいので避けてください。
3. 屋内または鉱内など、換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガスは有毒です。エンジンの排気ガスは吸わないように注意してください。
4. 夜間、及び天候の悪い時は、使用しないでください。
5. 子供には、絶対本機を操作させないでください。
6. 作業場所には関係者以外や、ペット、動物を近づけないでください。特に子供は危険ですから注意してください。

火 気 厳 禁 (混合油)

1. 2サイクルエンジンの燃料は混合油を使用しますので、オーガーのそばで、タバコやたき火をしないでください。
2. エンジン運転中又は、エンジンが熱いときに燃料タンクキャップを外したり燃料を補給したりしないでください。
3. 補給中、燃料がこぼれたら、完全にふきとってください。
4. 始動は、燃料のある場所や燃料補給の場所から十分離れて行なってください。
5. 燃えやすいものをマフラーから出る排気に近づけないでください。
6. 燃料は適切な容器に貯蔵し、涼しい場所に保管してください。

始業前 の点検

1. 機械各部の点検を行い、ねじ類のゆるみや欠品がないかよく調べてください。緩んでいる時は、確実に締付けてください。
2. ドリルはよく研がれたもので「欠け」「ひび割れ」「曲がり」などの異常がないことを点検してください。異常がある場合は絶対に使用しないでください。
3. 修理・整備等には必ず当社指定の純正部品を使用してください。
4. 燃料漏れ、オイル漏れがないことを確認してください。
5. 機能に適さないものや、指定外のドリルは使用しないでください。
6. 機械をきれいに掃除してください。特にエンジンのまわりのゴミなどを取除いてください。火災の原因になります。
7. 作業場所の、空缶、針金等の有無を確認し、ある場合は取除いてから作業をしてください。
8. エンジンを始動する時は、周囲に十分注意してください。始動直後ドリルが回転することがあります。ドリルを安全な方向に向けておいてください。
9. 屋内では、使用しないでください。
10. 始動は引火物の近く（燃料補給場所等）では行なわないでください。
11. 排気ガスを吸わないよう注意してください。
12. 回転を上げる場合は急激に上げず徐々に上げてください。

作業中の注意

1. 1日の作業時間は、2時間以内にしてください。
疲労は事故の最大原因です。30～40分作業したら10～20分休憩してください。
2. 作業中は5m以内に他の人を近づけないでください。特にペットや子供は危険です。
作業場所に近づけないでください。
3. 石などの多い場所での穴あけは、注意してください。本機が反転し足や手にあたり
傷害事故が起るおそれがあります。
4. 常に足元に注意し、本機や身体のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業
してください。
5. オーガーを使用している人に近づく時は、5m以上離れた位置から合図し、エンジ
ンが停止した後、前方から近づいてください。
6. 作業を中断したり、他の場所へ移動するときは、必ずエンジンを止め、十分注意を
払ってください。
7. 子供や説明を受けていない人にオーガーを操作させないでください。
8. エンジン運転中は、ドリルに絶対に触れないでください。ドリルに触れる場合には
エンジンを停止し、ドリルの回転が停止したことを確かめて行なってください。
9. 運転中、回転しているドリルに注意して、手足や身体他の部分、衣服などを近づ
けないでください。
10. オーガーを地面に置くときは、回転が完全に停止してから置いてください。
11. ドリルに大きな負担がかかり、回転が止まったときは、すぐにエンジン回転をアイ
ドリングにもどしてください。
12. 深い穴あけの場合は、一気にあけてしまわず、2、3度土を排出させながら作業し
てください。
13. 事故防止のため、本機のまわりに子供やペット・動物がいる場合は作業を中止して
ください。
14. 周囲の人から5m以上の距離をおいて作業してください。
15. ドリルは絶対に人や動物・壊れやすい物に向けないでください。
16. 操作中異常な振動を始めた時、騒音が高くなったりした時は、直ちに運転を止め、
エンジンを停止してください。
17. ドリルの交換・清掃時は、必ずエンジンを停止させ、ドリル先端を安全な方向に向
けて作業してください。
18. 能力を越えて使用したり、急激な操作はしないでください。
19. 本機から離れるときや、本機を修理・点検するときなどは、エンジンを止め、ドリ
ルの回転が完全に停止したことを確認してください。
20. 作業中に立ち話は絶対にしないでください。
21. 電気ショックを受ける可能性がありますので、作業中は点火プラグキャップ部に触
れないでください。
22. 火傷防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくは、エンジン本体
マフラー等に触れないでください。

作業後の注意

1. 長時間保管するときは、各部をきれいに掃除して安全な場所へ保管します。また、
エンジンの燃料は、タンク、気化器内部を含め全部抜き取ってください。
2. エンジンを停止した直後には、マフラー等に触れないでください。
3. 修理、調整をするときはエンジンを停止し、2次コードをプラグからはずしておこ
なってください。
4. 損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品、消耗品
は全て当社指定の純正部品を使用してください。
5. 保管は湿気の少ない場所にチリやゴミが付着しないようにして保管してください。

▲ラベルについて

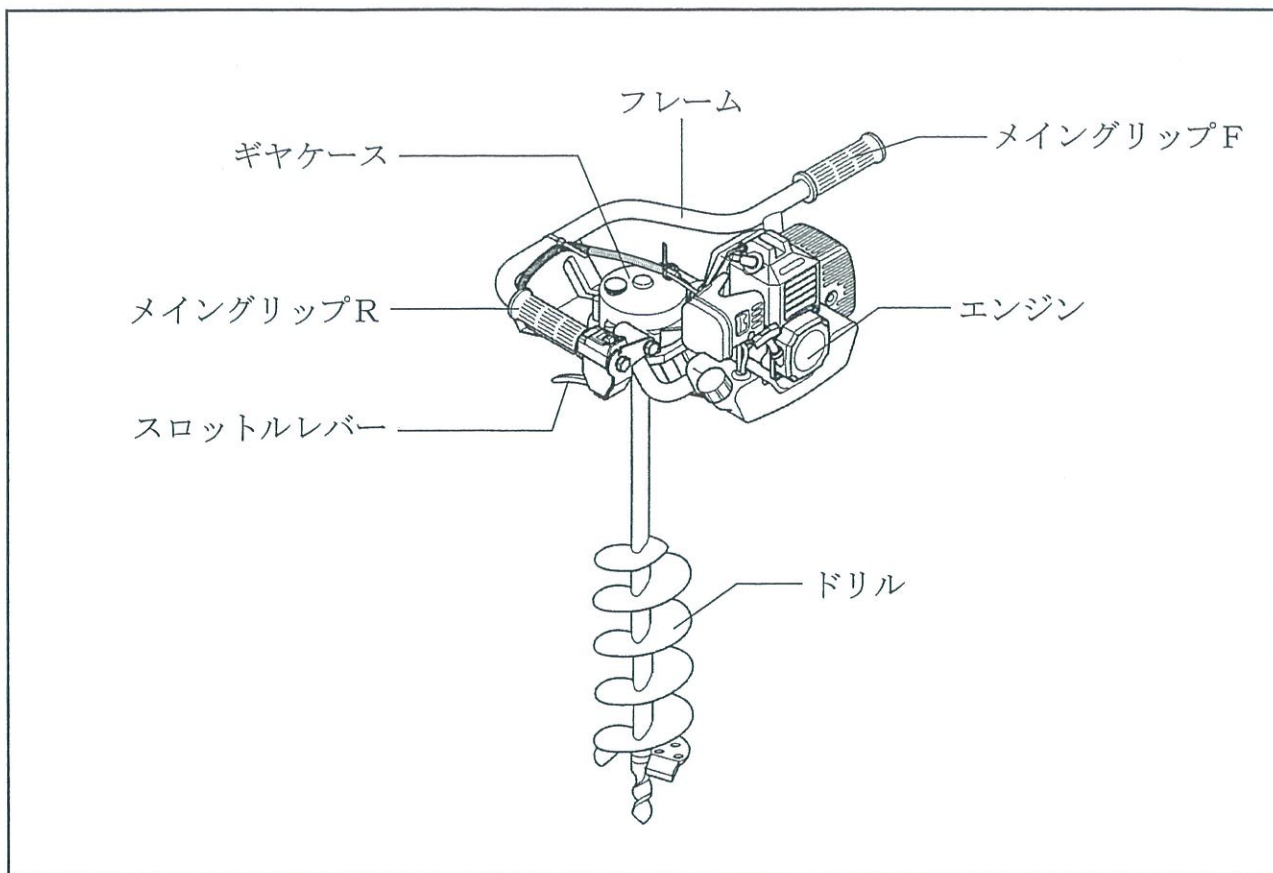
安全な取扱いについて説明している「▲印付ラベル」を機械に貼付しています。安全上、特に重要な項目を示していますのでラベル記入内容を守り、安全な作業を行なってください。

- ラベルを全て読んでから使用してください。
- 機械に貼ってあるラベルが破損したり、塗料がついたり、または読めなくなったら、新しいラベルに貼り替えてください。
- ラベルが付いている部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に付けてください。
- ラベルは機械のお買上げ先に注文してください。
(注文に際してはラベルに記入されているラベル番号で注文してください)

『ラベル表示の意味について』

	表 示	意 味	主な貼付位置
標 識	 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。	
	 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。	
	 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。	
記 号		ご使用前に、必ず取扱説明書を注意深く読んでいただき、安全に作業してください。	本機フレーム
		作業中に人身事故が起るおそれがありますので必ず防護具を着用してください。 (防護メガネ、保安帽、耳栓等着用)	
		火気厳禁 引火のおそれがありますので火気を近づけないでください。	
		回転部に接触すると、けがをするおそれがありますので回転部に手や足を近づけないでください。	

B. 各部の名称と仕様



仕 様

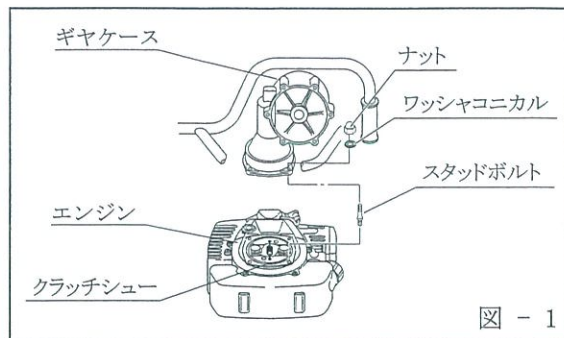
本 機	型 式	AG 4 0 0		AG 5 0 0	
	伝達方式	自動遠心クラッチ, ウォームギヤ			
	減速比	40 : 1		35 : 1	
	ドリル回転速度 (rpm)	180		210	
	ドリル回転方向	右			
	潤滑油	SAE80-90ギヤオイル			
	重量[ドリル無し] (kg)		8.3	9.4	
	外形寸法[長x幅x高] (mm)	590 × 375 × 270			
エ ン ジ ン	型 式		T L E 3 3	T L E 4 8	
	総排気量 (cm ³)		32.6	47.1	
	最大出力 (kW) {PS}		1.05 {1.43}	1.8 {2.4}	
	始動方式	リコイルスタータ			
	冷却方式	強制空冷式			
	点火方式	無接点式マグネット点火			
	点火プラグ		NGK BPMR8Y	NGK BPMR8Y	
	燃料混合比		50 : 1	50 : 1	
	燃料タンク容量 (ℓ)		0.8	0.9	
ドリル掘削穴寸法 (最大深さ : 560mm)		穴径 φ 35, φ 60, φ 80, φ 100, φ 150		穴径 φ 35, φ 60, φ 80, φ 100, φ 150, φ 200, φ 250	

※この仕様は改良等の為、予告無く変更する場合があります。

C. 組立

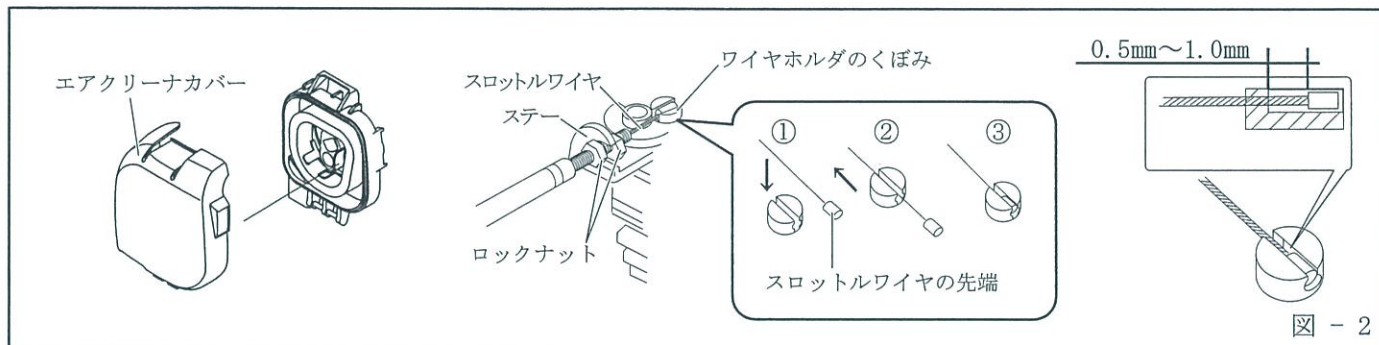
1. エンジンの取付 (図 - 1)

- 1) エンジンのクラッチシュー側を上側にし、エンジンの4ヶ所のねじ穴にスタッドボルトを取り付けてください。
- 2) エンジンにギヤケースをセットし、スタッドボルトにワッシャコニカル、ナットを取付け仮り締めしてください。
- 3) 4ヶ所のナットを均一に締め付けてください。



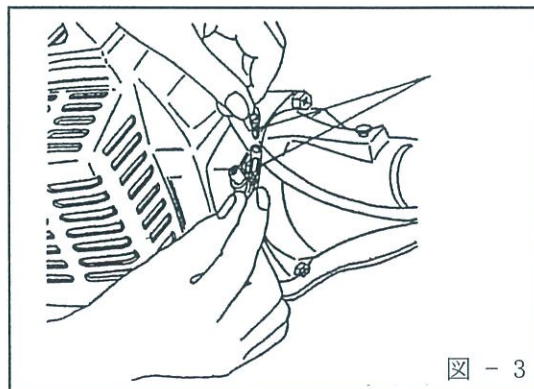
2. スロットルワイヤの接続 (図 - 2)

- 1) エアクリーナカバーを外してください。
- 2) スロットルワイヤをステーに取り付けてください。
- 3) スロットルワイヤの先端をワイヤホルダのくぼみへ取り付けてください。
- 4) スロットルワイヤの遊びが、スロットルレバーが低速（アイドリング）位置の状態で0.5mm～1.0mmになるように調整し、ロックナットで固定してください。



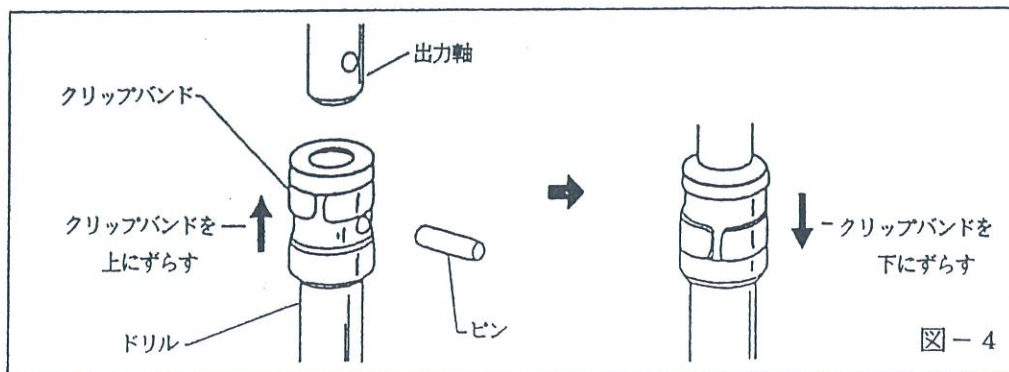
3. リード線の接続 (図 - 3)

エンジン側及び本機側それぞれから出ている2本のリード線を間違いのないよう確実に接続してください。



4. ドリルの取付 (図 - 4)

- 1) クリップバンドを上にはずらし、ピン穴からピンを抜き出してください。
- 2) ドリルと出力軸双方のピン穴の方向を合せドリルを出力軸に挿入してください。
- 3) ピン穴にピンを差し込みピンが抜け落ちないようにクリップバンドを下にはずしてください。



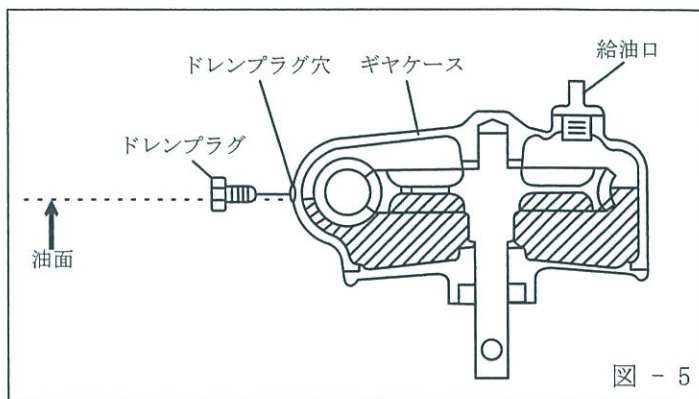
D. 運転前の準備と注意

1. 点検

- 1) スパークプラグをはじめ、各部のゆるみや部品の脱落がないか点検してください。
- 2) 空気の取入れ口や出口にゴミなどが詰まっていないかを確認してください。エンジンは空冷式です。冷却用空気の通路がふさがれていると、オーバーヒートの原因になります。
- 3) エアクリーナが汚れていないか確認してください。
エアクリーナの汚れは、運転状態や燃費に影響します。
- 4) スパークプラグを点検してください。

2. 給油（図 - 5）

- 1) 初回は50時間運転後、その後は100時間運転ごとに新しいオイルと交換してください。
オイル交換はギヤケースがまだ温かい内に行ってください。
- 2) 給油量は250ccです。
（潤滑油：SAE80-90ギヤオイル）
- 3) 給油の際はドレンプラグの穴からギヤオイルを溢れさせないでください。油面の高さは、本機を垂直に立て、ギヤオイルがドレンプラグ穴下面のレベルまであれば正常です。



E. エンジンの始動及び停止

1. エンジンをかける前の準備

- 1) 燃料タンクに燃料を入れてください。
燃料は普通の自動車用レギュラーガソリンに2サイクル専用オイルを混合した混合油を使用してください。

混合比（容積比）	搭載エンジン	ガソリン：2サイクル専用オイル(JASO)
	TLE33	50：1（FC級）
	TLE48	

ご注意

- 1) 誤った混合比の燃料を使用した場合、出力が十分出なかったり、エンジンの不調の原因になります。
- 2) 燃料がこぼれたら必ず拭き取ってください。火災の原因や衣服の汚れになります。

2. 始動 (図 - 6)

- 1) メインスイッチが『STOP』の位置にあると始動することができません。メインスイッチを『STOP』の状態から解除してください。
- 2) スロットルレバーを握ったままハーフガスレバーを矢印の方向に回してください。
- 3) これらの状態を保持したままスロットルレバーから手を放すとハーフガスレバーがロックされます。
- 4) これでエンジンは始動準備完了です。
- 5) プライミングボタンを指で上に当たるまで繰り返し押してください。【10回以上】
プライミングボタンを押すのは燃料を汲み上げ、始動を容易にするためです。(図 - 7)
- 6) チョークレバーを全閉位置 ( マーク側) にしてください。
燃料が残っていて、且つエンジンが暖まっている場合は、
チョークレバーは全開位置 ( マーク側) にしてください。
(図 - 8)
- 7) メイングリップを握り、リコイルスタータノブを勢いよく引っ張り始動してください。(図 - 9)
- 8) 始動後、エンジンの調子をみながら徐々にチョークレバーを全開位置 ( マーク側) にしてください。(図 - 10)
爆発音のみで始動しない場合は、チョークレバーを全開位置にして再びスタータノブを勢いよく引っ張ってください。
- 9) エンジンが始動したらスロットルレバーを軽く握ってください。
エンジンがアイドリング状態になります。(図 - 6)

本エンジンはプライミングポンプ操作を行なった時、燃料はタンクに戻る構造になっております。
プライミングポンプ操作を多く行なっても吸い込み過ぎ状態になりません。むしろ少ない場合には始動不良になることがありますので十分行なってください。

注記：

- ①エンジン始動時には必ずメイングリップを持ち周囲に人や障害物のないことを確認して始動してください。
- ②始動後は必ず暖機を行ない、アイドリング回転が安定した後作業を始めてください。
- ③暖機しないで高速運転に入ると、エンジンの寿命が低下します。

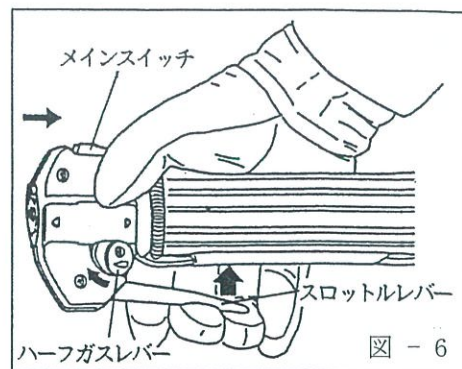


図 - 6

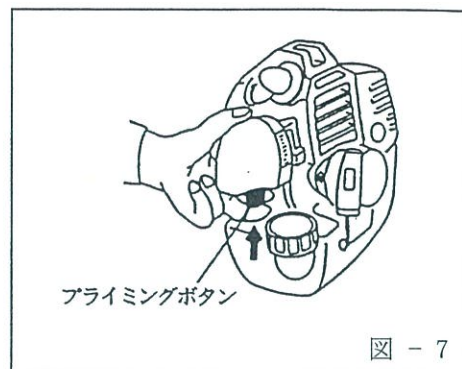


図 - 7

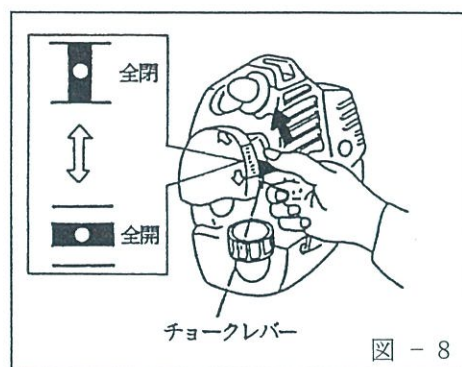


図 - 8

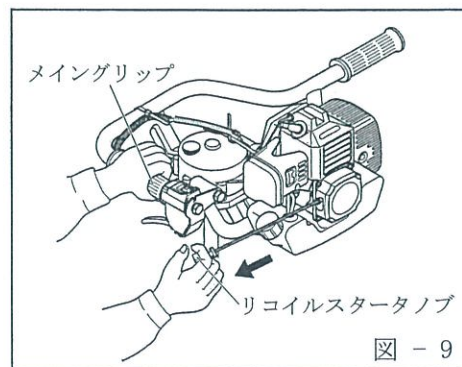


図 - 9

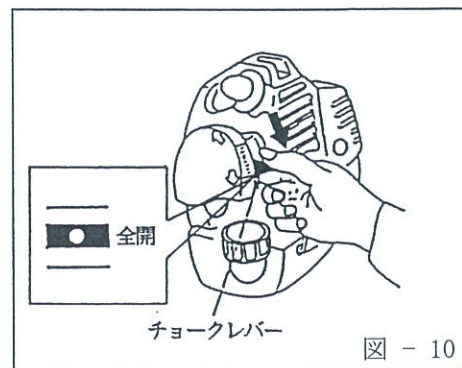


図 - 10

3. 停止 (図 - 11)

- 1) スロットルレバーを放し、エンジンをアイドリング状態にしてください。
- 2) メインスイッチを“STOP”のマークの方へ押すとエンジンが停止します。

燃料は最後まで使い切らないうちに補給してください。
次の始動が容易になります。

[注] 引続きあとの作業がない場合は燃料タンクの燃料を抜き取り
再始動して気化器内の燃料を使い切ってください。

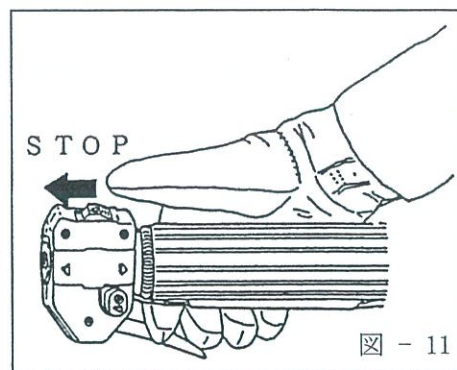
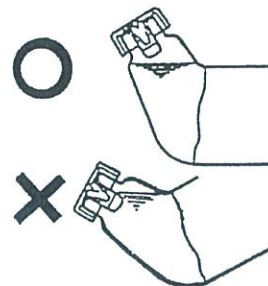


図 - 11

ご注意

- ① 夏期使用中、休憩などで作業機をお使いにならない時は、エンジンを水平に置いてください。タンクキャップが燃料につかっていると燃料が洩れることがあります。
- ② 運転中及び停止直後は火傷防止のためエンジン本体、特にマフラ部に触れないようにしてください。



4. 運転中の注意事項

- ・エンジン始動後スロットルレバーを低速位置にして、約2～3分間暖機運転を行います。
暖機とともになめらかな加速が得られます。
- ・始動直後はエンジン各部に潤滑油が充分まわっていませんので急激に回転を上げないようにしてください。
- ・スロットルレバーを全開にすると、かなりの高速回転速度となりエンジンの寿命が短くなるばかりでなく、故障の原因となりますので、無負荷運転(カラ吹き)はもとより、不必要な高速回転でのご使用は避けてください。

5. 気化器の調整 (図 - 12)

- 1) 低速回転調整は低速調整ねじで行ってください。

- ・右回し： 回転が高くなります。
- ・左回し： 回転が低くなります。

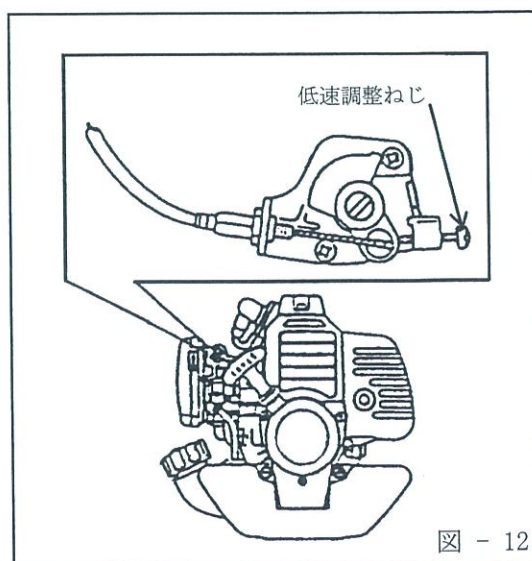


図 - 12

■ 日常の手入れ

エアクリーナの清掃

エレメントをガソリンで洗浄後、エンジンオイルに浸し片手で固く絞ってください。

(図 - 13)

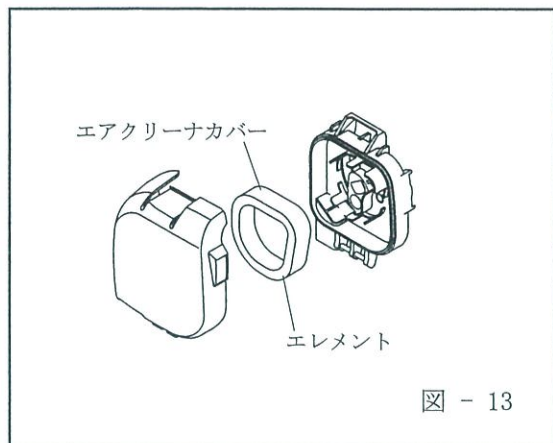


図 - 13

各部ねじ類の点検

各締付け箇所は定期的に点検増締めを行なってください。

(図 - 14)

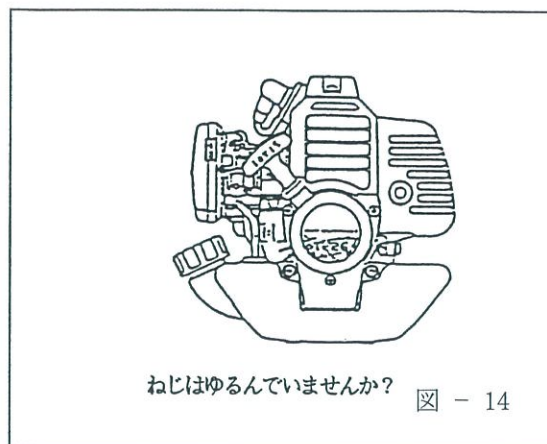


図 - 14

■ 50時間運転毎の手入れ

点火プラグの清掃と調整

電極及びガイシ部に堆積しているカーボンを清掃後、電極スキマを0.6～0.7mm (官製ハガキ3枚の厚み) に調整します。組付時、プラグキャップは確実に押込んでください。(図 - 15)

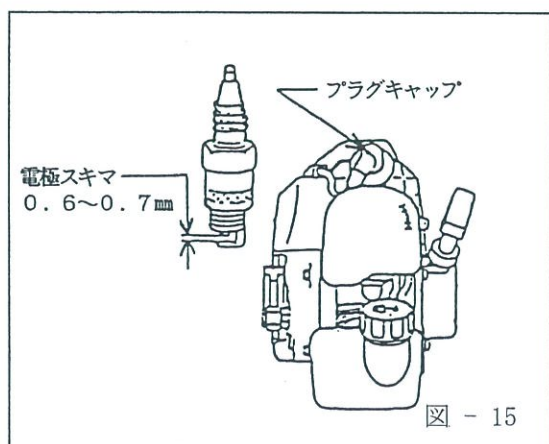


図 - 15

燃料フィルターの清掃

針金等で燃料注入口から引出してきれいなガソリンで良く洗ってください。汚れがひどい時は、フィルターを交換の上、タンク内も洗浄してください。(図 - 16)

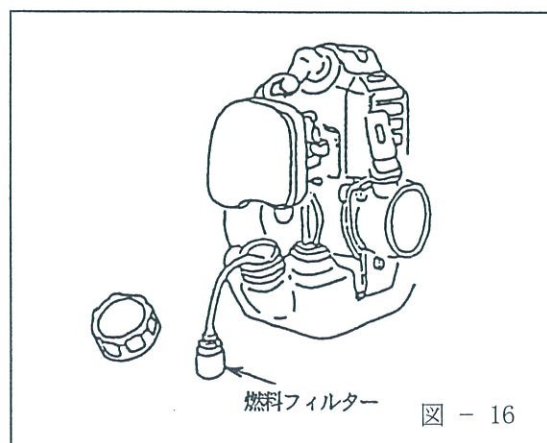


図 - 16

カーボン落とし

マフラ出入り口、シリンダ、ピストンのカーボンを除去します。

この作業はエンジン整備の技術及び道具を要します。

お買上げの販売店又は、最寄りのサービスセンターへご相談ください。

F. 保守・点検及び保管

1. 作業の前後に機体を点検整備し、最良の状態を使うことは、能率的で安全な作業につながります。
2. 各部のゆるみや部品の脱落がないか点検し、緩んでいるところがありましたら、締め直してください。
3. 保管の際は、
 - 1) 燃料タンクの燃料を完全に抜き取り、再びエンジンを始動させ、キャブレタ及び燃料パイプ内の燃料を使い切ってください。
 - 2) スパークプラグの穴から少量のオイルを流し込み、スパークプラグを取付けた後リコイルスタータを引き圧縮のあるところで止めてください。
 - 3) エアクリーナ等を点検し、清掃、乾燥させてから取付けてください。
 - 4) 湿気の少ない所にチリやホコリが付着しない様に格納してください。
損傷部分は必ず修理してください。

ご注意

燃料を入れたまま長期間放置すると燃料中の不純物が気化器や燃料フィルタ等の燃料通路に
つまり、エンジン不調の原因となりますから長期保管時は必ず抜いてください。

—MEMO—

お客様へ：真心をこめて…「ありがとうございます。」

KAZ カーツ株式会社

本 社 〒704-8588 岡山県岡山市東区西大寺五明387-1

【 営 業 】 TEL.(086)942-1118 FAX.(086)942-1120

【受注・問合せ】 TEL.(086)942-1117 FAX.(086)943-9364

九 州 営 業 所 〒862-0911 熊本県熊本市東区健軍2-11-58 ライズ神水(クワミス)1F

TEL.(096)285-4331 FAX.(096)285-4330

カ ー ツ 台 湾 中 華 民 国 台 湾 省 台 中 縣 神 岡 鄉 中 山 路 360 巷 7 号

【ホームページ】 <https://www.kaaz.co.jp/>

【 E メ ー ル 】 kaaz@kaaz.co.jp